進路通信R7

吉野東中学校 進路指導部
第5号
R7.8.21 発行

＊ 自分が蒔いた種は自分で刈り取れ！

「自分が蒔いた種は自分で刈り取れ！」自分の言動の結果は良いことも悪いことも最終的には自分自身が責任を負うという意味だ。私が高校３年の夏（昭和 61 年）の三者面談のとき、学力不振の私に父が放った言葉だ。

「学費の安い〇立大学、就職のいい理系にしろと確かに言った。でも、最終的に理系を選んだのは自分だろ？何も考えず、やりたいこともはっきりしない自分が悪いんだ。今更、文系に変えるのか？それで解決するのか？時間はとりもどせねぇんだ。今の現状は自分が蒔いた種だ。自分で刈り取れ！不合格なら、就職するか、浪人しろ！」・・・と。

言い訳をしてつらい勉強から逃げていた自分がいたのは間違いなかった。その証拠にたくさんのプリントの宿題を先生に叱られたくないから、友人の宿題を写してその場から逃げていた自分がいた。

勉強をせず、いい方法で大学に受かりたいなぁという甘えた自分がいた。

自分自身、薄々、気付いていたが、現実を直視するのが怖くて放置していた。３年の夏、このままではいけないことを実感した。かねて、おとなしい親父からの小言も響いた。

宿題の多い高校であったので、夏休み後半（補習後半）から、学校配布のプリントを参考書をみながら解いたあと、理解できない箇所を先生や友人に質問するようにした。「自分は本気でやればできる」というプライドは捨てるしかなかった。**真剣に取り組んでも解けない自分に自己嫌悪の日々。**宿題を出せないときは、「すみません。理解が遅く、手をつける時間がなかったです。」と先生に申し出た。「君は〇〇高生のレベルに達していないね。これぐらい解けないと現役で〇立大学に合格できんぞ」と毎回叱られた。（義務教育でないし、先生が悪いのではなく、そういう時代）

自分自身の性格にあう高校を選ぶべきだと痛感した。（はたして、そういう高校は実在するのか？）

プライドを捨てた私は、「自分が蒔いた種は自分で刈り取れ！」と自分自身に言い聞かせた。私は、人より秀でるもの（絵や運動能力など二次試験の実技や推薦に値するもの）がなく、**迷わず学力検査で受験にのぞむしかなかった。**その反動で、大学時代は思う存分、楽しんだ。一方、高校時代の友人が数人、目標を見失い、大学を中退していくことが悲しかった。大学中退率の多い高校だったので、卒業するときに「大学をやめるな！」と担任の先生から言われた記憶がある。

あの時、親に「××したいから、すまんけど、俺に金出して●●に行かせてくれんか」と言えばよかったのか・・・。　そしたら、人生は変わっていたのか・・・。「たら・れば」を言ったらきりがない。

教師を目指していなかった私は、大学４年の教育実習で心が変わり、今、私（筆者）は中・高校時代、そこまで得意でなかった教科の理科の教師をし、進路指導をしている。

上述したことは、参考になるか、ならないかは自分で判断してほしい。

＊　三者面談で多かった質問に答えます！公立高自己推薦について

７月の進路説明会時に述べましたが、公立高校入試については、県教委の R7 公立高等学校選抜実施要項（**県 HP ホーム＞教育・文化・交流＞学校教育＞入試＞高校・専攻科＞令和７年度高校入試情報＞令和７年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要項**）を参考にするよう説明しました。令和８年度鹿児島県公立高等学校選抜実施要項は、県教委 HP にアップされていません。　（裏面へつづく）

昨年度のR7公立高等学校選抜実施要項　P1［2］１出願資格　とP15　を参考にして下さい。

↓　　要約したもの

推薦入試について

⑴　学校推薦

＜出願資格＞　志願できる者は，次の(1)～(6)のいずれにも該当し，他の模範となる生徒，吉野東中学校の代表としてふさわしい生徒で，学校長が推薦する生徒である。

＜出願資格＞　～令和７年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱より～
(1) 令和７年3月に本県の中学校を卒業する見込みの者
(2) 当該学科・コース等を志願する動機や理由が適切であると認められる者
(3) 当該学科・コース等に入学する意思が確実であると認められる者
(4) 当該学科・コース等に対する適性及び興味，関心を有する者
(5) 当該学科・コース等の教育を受けるにふさわしい学業成績である者
(6) 生徒会活動，スポーツ活動，文化活動，奉仕活動等の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する者又は特定の教科において優れた能力を有する者
＊判断基準は，上記(1)～(6)を基にして実施校において定めるものとする。

⑵　自己推薦（公立）

＜出願資格＞　志願できる者は，次の(ア)～(ウ)のいずれにも該当する生徒である。

＜出願資格＞　～令和７年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱より～
（ア）令和７年3月に中学校等を卒業する見込みの者，中学校等を卒業した者
（イ）各高等学校が示す育成したい生徒像・求める生徒像を理解し，当該学科・コース等で学ぶ意欲を持つ者
（ウ）**学校推薦出願資格⑵～⑹に加え，**各高等学校が定める出願資格の要件を満たす者
＊判断基準は，上記を基にして実施校において定めるものとする。

＊　第３回進路希望調査進路希望調査　→　鹿児島工業高等専門学校を希望する生徒は、R８からは５学科を１学科にするということで、番号を　３０１　にして下さい。

＊　令和８年３月県内公立及び国立の中学校等卒業予定者の進路希望状況調査の結果

↓

本校は６月下旬の第２回進路希望調査進路希望調査を報告しました。

調査結果は鹿児島県のHPの

ホーム　＞　教育・文化・交流　＞　学校教育　　＞　学力　＞　進路調査

（　当面は県教委HPの「トップページの注目情報」　）

掲載されています。